

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立西公民館					
職員数		8名 (内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	11.0km ²	人口	15千人		
施設	開館年度	令和2年度(旧施設は昭和48年度)		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	991.04m ²		敷地面積	2,645m ²		
	室名	■集会室A ■集会室B ■集会室C ■集会室D ■多目的ホール					
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,499	2,591	2,915	3,258		
	参加者負担金	48	57	76	73		
	軽印刷その他雑入	124	211	185	264		
	計	2,671	2,859	3,176	3,595		
支出	活動費(0101)		141	160	144	190	
	維持管理費(0102)		4,993	6,228	6,348	9,688	光熱水費、委託料等の増
	事務費 (0103)	人件費	10,217	10,225	10,641	13,090	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増
		その他	1,441	737	637	755	
	計		16,792	17,350	17,770	23,723	
	営繕工事費(0200)		0	0	0	0	
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	26,821	33,914	38,157	38,000	令和5年度実績
		利用件数	2,873	3,083	3,212	3,200	令和5年度実績
		利用日率	86.6%	90.5%	91.4%	91.0%	令和5年度実績
	事業	事業日数	100	107	122	127	新規6事業追加
		参加者数	1,816	3,561	5,688	5,700	令和5年度実績
	図書室	利用者数	6,996	6,717	5,746	5,800	企画展等の充実を図る
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
令和5年度方針		令和5年度の西公民館運営方針として、地域住民の教養の向上及び健康の増進を図るとともに、地域住民同士の交流を図るため、次の7項目を掲げた。 1 地域に開かれた公民館を目指し、誰もがつどい、学び合い、ふれあう環境の整備に努めます。 2 地域の人々の生活課題を解決するための情報提供及び学習活動への支援・助言に努めます。 3 各種団体やサークル活動の支援に努めます。 4 ロビーワークを重視した運営の展開に努めます。 5 施設の円滑な管理運営に努めます。 6 西地区の公民館との連携・協働の強化に努めます。 7 関係機関や地域の諸団体との連携・協働の強化に努めます。					
令和5年度改善事項		主な改善点 1 新型コロナウイルスの5類への移行に伴う市民の行動変化の影響もあり、図書室の利用者数が減少していたため、企画事業「ブック展」をより多くの皆さんにPRするため、タウンニュースへの掲載、ポスターを渋沢駅連絡所に掲出した。 2 公民館利用団体との連携の下で、開館リニューアル3周年コンサート、ひなまつりコンサートなど、音楽ジャンルの自主事業2事業を追加で開催した。 3 理科指導ボランティアと西小、西中学校の連携による子ども科学工作教室を実施した。 4 ロビー活動では作品展示・啓発などの充実とBGMを流すなど心癒す場の創出に努めた。 5 まちづくり委員会等の支援による花のプランターの設置のほか、季節を感じる植栽等を行った。					

評価:5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	5			自主事業の開催に当たっては、各講座におけるアンケート、公民館利用者の声、公民館運営協議会における意見等を踏まえ、新規に11事業を実施し、公民館まつりも含めた事業への参加者数は大きく増加した。 (R4年度:3,561人→R5年度:5,688人) 事業の周知においては、広報はだの、HP掲載のほか、特に、子ども向けの事業については、「夏休みは西公民館へ行こう」というチラシを西小学校全児童に配布するほか、地域の幼稚園等へは直接事業を紹介するなど、PR活動に努めた。 また、公民館運営の充実を図るために、必要な研修については、館長、公民館職員、図書職員が積極的に受講した。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	5			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	5			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	5			
	評価	5	5	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5			公民館利用団体や自治会、地区社協などと連携を図り、地域の課題を把握しながら、各行事などにも公民館としても積極的に関わるなど、まちづくりの拠点となるように努めた。 公民館まつりでは、前年度から新規参加9団体が加わり、実行委員会による積極的な企画・運営がなされ、大いに盛り上がりを見せた。 小・中学校との連携事業としては、夏休みに西中生徒向けに「図書ボランティア講座」を実施、西小児童向けの11の創作等講座を開催したほか、理科指導ボランティアの協力のもと、新たに「子ども科学工作教室」を開催した。また、12月には西中科学部の生徒が講師となり、西小児童とペットボトルロケットの作成・発射の体験事業も開催した。 婦人会、PTAOBなどの女性で構成されている「西の女性交流会」は、異世代女性間の交流、季節の郷土料理などを通じて、地域の家庭教育へつなげる活動を実施した。 そのほか、地域高齢者支援センターとの共催により、身近な施設で質の高い音楽を楽しんでいただくコンサートを開催するなど、地域団体との連携事業も実施した。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	5			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	5	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			リニューアルオープン4年目。安全・安心な施設づくりをコンセプトに建築し、機能的な部屋づくり、新しい設備を配置している。利用度の低い専用の調理室や創作活動室は配置していないこと、第2駐車場と建物が離れていることに一部利用者の不満の声もあるが、多くの利用者からは明るく綺麗で快適な施設と評価されている。 令和5年度は、「みんなのトイレ」の車いす利用者のための低い位置への鏡の設置や図書検索システム利用者に対応した椅子の設置など、利用者の意見にも迅速に対応した。引き続き、利用者の満足度を高めていきたい。 公民館の顔となるロビーでは、花や季節の風物を展示、時宜に合った音楽を流すなど、明るい雰囲気づくりに努めた。 また、図書室では、定期的なブック展の開催、本のディスプレイについても、利用者から良い評価が出ている。
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	5			
	図書室は機能しているか	5			
	施設・設備は整備されているか	5			
	評価	5	5	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	5	施設利用としては、令和4年度と比較すると、利用人数で約12.5%増加、利用件数で約4.5%増加した。特に、「西公民館まつり」は、前年度比で約2,000人の増となった。人数制限を撤廃しての実施ではあるが、公民館で活動しているサークルをはじめ、日頃から西公民館を活動拠点としている公的な団体(自治会、婦人会、地区社協、体育協会、学校や幼稚園など)からも多くの参加者があり、各団体間の連携も深まっているよう考える。 また、令和5年度は、職員の積極的な提案や意見交換により、新たな自主事業への取り組みや公民館の運営においても、様々な工夫・改善もできたと考えている。特に、西小学校の児童を対象に、日立神奈川OBのハイエンス神奈川の協力による「子ども科学工作教室」、「クリップモーターづくり」や西中学校科学部の生徒が講師になった、「ペットボトルロケット飛ばしに挑戦しよう」では、ロケットの作成、西中学校校庭でのロケットの発射など、児童・生徒・地域ボランティアの交流を図る事業を開催することができた。 一方で、少子・超高齢化による、地域の連帯感の希薄化などの地域の課題もあり、公民館の果たす役割はより重要になってきている。引き続き、持続可能な人づくり・地域づくりに貢献するための施設として、地域性を生かし、地域の方々にとって親しまれ、愛される公民館となるよう努力していきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	5	令和5年度事業報告及び日頃の西公民館の運営状況を見聞した中で、特に次の点を高く評価した。 ① 新規講座について積極的に取り組むとともに、公民館まつりをはじめ、利用者、参加者、公民館職員が一体となった事業の展開がなされており、地域づくりの拠点としても十分な役割を果たしている。 ② 令和5年度は、小学生を対象とした「子ども科学工作教室」の開催をはじめ、西地域高齢者支援センターとの共催によるコンサートの開催など、地域、学校、ボランティアとの連携を一層深め、公民館の持つ学習の提供の場としても、新たな一歩を踏み出している。 ③ 公民館利用者等の声を真摯に受け、臨機応変な事業の展開、窓口業務対応、ロビーワークでの工夫など、利用者ファーストの姿勢が数多く窺えた。 なお、引き続き、地域の特性を生かし、生涯学習の場として、まちづくりの拠点として、施設運営の充実を図られることを期待したい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	「子ども科学工作教室」や「クリップモーターづくり」、西中学校コミュニティ・スクールの一環で開催された「ペットボトルロケット飛ばしに挑戦しよう」など、児童・生徒・地域ボランティアの交流を図る事業は、西公民館ならではの取り組みであり、評価できる。 一方で、西中学校体育館は現在常時開放されていないが、社会教育施設として一般開放され、利用方法が充実することで、開かれた公民館につながり、より一層利用者の利便性が向上されるため、今後の運用に期待したい。 ロビーについては、昨年度課題であった展示や案内表示などを分類ごとに分け、スペースを有効活用することで、利用者に寄り添った工夫が施されていた。

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南公民館					
職員数		8名 (内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	6.0km ²	人口	33千人		
施設	開館年度	昭和45年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	994.26m ²		敷地面積	1,476.45m ²		
	室名	■多目的ホール ■視聴覚室 ■集会室 ■学習室 ■和室 ■調理室					
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,487	2,480	2,075	2,359		
	参加者負担金	17	28	26	26		
	軽印刷その他雑入	139	183	232	287		
	計	2,643	2,691	2,333	2,672		
支出	活動費(0101)		138	169	199	190	
	維持管理費(0102)		5,932	7,311	6,097	8,097	光熱水費、委託料等の増
	事務費 (0103)	人件費	9,724	10,349	10,372	13,089	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増
		その他	453	561	554	833	
	計		16,247	18,390	17,222	22,209	
	営繕工事費(0200)		0	0	0	0	
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	30,132	34,896	34,439	35,000	
		利用件数	3,060	3,393	3,214	3,300	
		利用日率	70.1%	75.1%	75.5%	75.0%	
	事業	事業日数	63	85	75	63	
		参加者数	1,133	1,210	1,383	1,444	
	図書室	利用者数	7,101	6,506	6,189	6,500	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
令和5年度方針		「明るく笑顔あふれる公民館」を目指し、地域で活動する団体と連携を深めながら事業展開を図るとともに、サークル活動の活性化に向け、サークル支援を進める。					
令和5年度改善事項		新型コロナウイルスの制限がほぼなくなったことにより、最も実施が懸念されていた食に関する事業(初心者パン教室、親子パン教室)を新たに実施した。また、既存の事業についても、従来計画を確実に実施することで公民館の活性化に努めた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会や日常の窓口での利用者とのやり取り等を通して、広く意見を吸収するとともに、公民館活動に取り入れることができた。 特に公民館運営協議会では、活発に協議・検討、意見交換、情報交換を行い、より良い公民館運営につなげることができた。 職員の研修機会は少なかったものの、運営上の懸案事項等は職員間でよく話し合い、対応方法について検討することができた。公民館での自主事業については、他館や地域の児童館にもポスターなどを掲示するとともに、広報はだの以外にも公民館報やホームページに掲載し、地域に発信することができた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているか	4			公民館利用団体、特に自治会やまちづくり委員会の構成団体と連携、協力して地域の拠点としての公民館づくりに努めた。 「公民館まつり」は、社会教育施設としての本来の目的である利用団体の日頃の学習成果の発表の場とし、団体相互の交流を図ったほか、幼稚園、こども園との連携・協力により園児の作品展示や発表も実施している。 また、夏休み期間中は、子ども向けの事業を多く実施し、たくさんの児童、幼児に利用していただくよう努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			開館から50年以上が経過し、施設が老朽化しているほか、駐車台数が少なくエレベーターがないなど課題はあるが、軽易な不具合等には迅速に対応し、安全に利用できるように務めた。 また、南公民館は、震生湖への観光客や、まいまいの泉に水を汲みに立ち寄る人なども多いため、明るく笑顔あふれる対応を心がけている。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができていますか	4			
	図書室は機能しているか	3			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	3	3	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	令和5年度の自主事業は、講師・協力者の都合により中止となったものもあるが、ほぼ予定どおりの事業が実施でき、おおむね好評であった。今後も、自主事業参加者のアンケート等により市民のニーズを把握し、地域特性を活かした様々な事業を展開していきたい。 また、老朽化が著しい施設・設備の機能維持や、敷地内の環境美化も心がけ、施設利用者に安全安心で清潔な生涯学習の場を提供できた。 引き続き、適切な施設の維持管理に努めたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	自主事業においては、南地区のまちづくり委員会や体育協会、青少年指導員など地域と連携し、地域特性を生かした事業が実施されている。 また、親子や児童・生徒を対象とした事業が多く実施されていて、子どもの増加が続いている南地区の実情に対応した事業展開ができています。 施設に関しては、エレベーターがないなどバリアフリー化が十分ではなく、老朽化が著しいなどの課題は多いものの、職員の丁寧な施設管理の対応により、利用者の理解は得られていると思うが、公民館は、誰もが安心、安全に、また、不便さや困難さを感じることなく利用できる施設であるべきであり、災害時には避難所にもなることから、早期に更新されることが望まれる。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	公民館が、地域住民と協働し、南地区ならではの季節感ある伝統行事を後世へ伝えていく取り組みは高く評価できる。 また、南公民館は青少年指導員が協働し、南キッズ子ども会の活動を支えているほか、地域の関係団体と綿密に連携を図ることで、地域の拠点としての役割を十分に果たしていることが伺える。 一方で、南公民館が開館してから50年以上経過しており、施設面を見ると、エレベーターや自動ドアが未設置であることに加え、ロビーには、空調設備がないなど、施設面の課題が多く見受けられる。公民館の更新時期などの課題があり、対応することが難しいが、様々な立場の利用者が利用することに加え、公民館はクーリングシェルターに位置付けられているため、社会的弱者に配慮した設備整備が求められる。

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立北公民館					
職員数		8名 (内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	20Km ²	人口	13千人		
施設	開館年度	平成12年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,493.25m ²		敷地面積	2,712.32m ²		
	室名	■多目的ホール ■集会室 ■音楽室 ■和室 ■創作活動室 ■調理室					
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,624	2,515	2,135	2,323		
	参加者負担金	37	74	43	42		
	軽印刷その他雑入	292	304	421	314		
	計	2,953	2,893	2,599	2,679		
支出	活動費(0101)		741	736	447	519	
	維持管理費(0102)		10,281	9,950	9,672	8,979	光熱水費、委託料等の増
	事務費 (0103)	人件費	10,250	9,958	10,740	12,719	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増
		その他	471	664	762	1,123	
	計		21,743	21,308	21,621	23,340	
	営繕工事費(0200)		0	0	17,213	0	
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	23,961	28,368	29,307	30,000	
		利用件数	2,362	2,463	2,442	2,500	
		利用日率	67.9%	71.6%	71.1%	72.0%	
	事業	事業日数	65	86	68	72	
		参加者数	2,223	4,043	3,650	4,000	
	図書室	利用者数	4,174	4,086	3,681	4,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,141	4,237	3,820	—	
	令和5年度方針		地域の生涯学習活動、まちづくりを推進する拠点として、利用者とのコミュニケーションを大切にし、より一層の地域・学校・利用団体等との連携を大切にした事業展開を図る。 あいさつ、声かけ、丁寧な接遇とともに、利用者のニーズを反映し、安全で安心して利用できる地域に愛される公民館づくりを目指す。				
令和5年度改善事項		公民館の利用団体の多くが、定期的に利用していることから、できるだけ利用日や利用時間が重複しないように、使用する部屋を変更してもらうなど、団体間の調整を図った。 公民館事業においては、公民館を身近な活動の場と感じてもらうため、新規に和太鼓及びニュースポーツ体験教室を実施した。また、まきの木まつりでは、北小学校3年生が模擬店を自主運営したが、多くの来店者があり、大盛況となった。 維持管理については、令和6年1月の全館LED化に伴い、故障していた照明のスイッチを修繕し、照明の故障箇所をゼロとした。また、植栽や駐車場において、伸びすぎていたつつじをはじめとした中高木の剪定を行い、快適な環境づくりに努めた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			日頃から利用者の声に耳を傾け、利用上の課題を全職員が共有し、意見を出し合いながら、利用者の立場に立った公民館の運営に努めた。 公民館運営協議会では、自主事業の活性化や図書室の利用促進について意見をいただくなど、公民館の効果的な運営について提言をいただいた。 公民館運営協議会委員の研修への参加は、実現できなかったが、館長が研修会等に2回参加し、公民館職員との情報共有を図った。 公民館自主事業の住民への周知は十分とは言えないが、広報はだのや館報のほか、公民館利用者や地域サロン等を通じて知人等への参加を呼びかけた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	5			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			北地区まちづくり委員会や北地区社会福祉協議会と積極的なコミュニケーションに努め、地域課題等の情報収集を図った。 公民館事業については、利用団体や長寿会等のまちづくり団体との連携を密にし、情報提供を行うことで利用者の増加につなげ、参加者からは、事業の課題や今後のあり方について意見を聴取した。 自主事業については、利用者のニーズを踏まえ、引き続き、シニアを対象とした講座の充実にも努めるとともに、地域の伝統文化や料理の伝承を図る講座を実施した。 まきの木まつりでは、北小学校3年生が模擬店を開き、地域住民と積極的に交流し、学校から地域学習の大きな成果を得たとの評価をいただいた。 中学生や高校生の利用は少ないが、恒例の演劇祭では北中学校と秦野高校の演劇部が参加し、多くの来場者でにぎわった。 地域主催の福祉ふれあいまつり、芸能まつり、お楽しみ会等の開催に際し、事前に公民館利用者に情報提供を図り、行事への参加を呼びかけ、地域のまちづくりの拠点としての役割を果たすよう努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	3			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			5月上旬に利用者説明会を開催し利用方法等について説明したが特に問題点の指摘はなかった。 職員は、常に利用勝手の良い公民館となるよう、伝達事項については、掲示物を作成しわかりやすく伝えている。 来館者に気持ちよく利用していただくため、部屋の予約や住民票等の発行業務において迅速で丁寧な対応を心がけており、一年通してトラブルはなかった。 図書室においては、毎月、季節を感じる飾りつけをし、明るく、親しみやすい雰囲気づくりに努めた。図書の貸出人数は前年に比べ、減少している。まきの木まつりにおいて、年間100冊以上借りた小学生の表彰を行っているが、さらに、貸出人数を増加させることが課題となっている。 施設修繕については、予定の修繕(自動ドア、駐車場階段の手すり、電気温水器)を全て完了した。
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価		
評価:5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	公民館は、地域のまちづくりを推進するための拠点であることから、まちづくり委員会や社会福祉協議会が主催する敬老会、福祉ふれあいまつり、芸能まつりなどについては、情報共有を図り、住民への周知のほか、まちづくり委員会と利用団体との調整役を担うなど、密接な協力体制を築いている。 公民館の利用者数は、昨年度に比べ約3%の増加にとどまり、目標の3万人に届かなかったが、年度途中から新規に利用する団体が増加していることや、調理室の利用が活発になったことが明るい材料である。 公民館の自主事業については、事業数、参加者数とも昨年度とほぼ変わりなかったが、高齢者が手軽にできる体操の講座や高齢者を対象にしたフォークのコンサートなどは人気が高く、多くの参加者を得ることができた。一方で未就学児を対象に毎月実施している絵本の読み聞かせは、参加者が少なく課題となっている。 まきの木まつりは、新型コロナウイルスの制約のない従前の内容になったこともあり、模擬店、舞台発表とも多くの来場者でにぎわい大盛況となった。特に北小学校の3年4組が模擬店に参加(手作りの販売)したことで小学生の来場者が非常に多く、まつりを盛り上げた。今後も小中学生の社会教育の一翼を担っていきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	地域のまちづくり団体との連携や地域行事に関する情報共有が図られている。今後も、まちづくりの拠点として、地域活動や交流の場づくりを積極的に支援していただきたい。 自主事業については、未就学児を対象にした事業の参加者が少ないため、他の事業や近隣保育園との連携を検討していただきたい。 子どもを対象にした地域文化の継承講座や体験教室は、次世代育成となるので、今後も継続していただきたい。また、少子高齢化、デジタル化が進展していることから、スマホ講座など利用者のニーズを反映した事業の企画をお願いしたい。 施設整備については、修繕等により利用しやすい快適な環境が保たれているが、故障により利用できない会議用テーブルの更新をお願いしたい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	ロビーの広さを利用した展示スペースの工夫や利用者がゆったりとくつろげるように椅子の配置を工夫するなど、利用者に思いを寄せた取組みは評価できる。 施設面では、多目的ホールの利用率が高く、広さとともに鏡が設置されていることに加え、LED照明に変更したことで、各部屋が非常に明るくなったことから、利用者から大変好評である。加えて、植栽の手入れや駐車場の草刈りなどは、地域の自治会の協力により、きれいに整っており、公民館と地域の深いつながりを感じることができる。 講座においては、ユニカールやフライングディスクなどのニュースポーツやスポーツチャンバラなど独自の企画が面白い。また、月見饅頭や味噌を作る講座など、伝承事業を展開し、子どもからお年寄りまで関われる機会が創出されているため、高く評価したい。

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立大根公民館					
職員数		8名 (内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	6km ²	人口	25千人		
施設	開館年度	昭和54年度		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	1,136.14m ²		敷地面積	1,587.03m ²		
	室名	■多目的ホール ■集会室 ■学習室 ■和室 ■調理室					
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,711	3,208	2,191	2,487		
	参加者負担金	95	107	170	164		
	軽印刷その他雑入	120	135	168	273		
	計	2,926	3,450	2,529	2,924		
支出	活動費(0101)		160	126	151	186	
	維持管理費(0102)		6,529	8,305	9,125	8,163	光熱水費、委託料等の増
	事務費 (0103)	人件費	10,165	10,404	10,303	13,088	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増
		その他	464	507	684	830	
	計		17,318	19,342	20,263	22,267	
	営繕工事費(0200)		0	0	0	0	
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	24,660	31,346	29,956	32,000	
		利用件数	2,600	2,726	2,649	2,800	
		利用日率	74.7%	78.2%	74.8%	80.0%	
	事業	事業日数	70	69	82	75	
		参加者数	1,254	2,192	3,135	3,000	
	図書室	利用者数	11,327	10,502	8,635	10,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	4,346	3,854	3,385	—	
	令和5年度方針		生涯学習の場及び地域まちづくりの拠点としての機能をより発揮できるよう、関係諸団体との連携を図り、その地域の力も活かしながら、時代や地域住民のニーズを的確にとらえた安全で安心な公民館運営を進める。				
令和5年度改善事項		令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが5月から5類に移行し、社会的制約が大きく緩和された。こうした中で、「おおね公民館まつり」及び「おおね音楽祭」はマスク着用なしで、ほぼ通常体制での開催をすることができ、地域を見つめ直したり、新たな課題を意識した自主事業をも実施するなど、人と人を結び、生きがいや学びがいにつながる場を提供することができた。 施設管理面では、前年度に引き続いての敷地内樹木の大規模剪定のほか、懸案だった屋上防音壁の修繕、駐車場西側階段脇の石積の改修、館内全ての窓への網戸の設置を実施し、安全で安心な環境整備に努めた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			講座等実施時には参加者へのアンケート調査を実施し、今後の事業に反映するように努めた。事業実施に当たっては、公民館運営協議会の委員に講師や指導者を務めていただいたり、運営に協力いただいた。 4月の人事異動により職員が大幅に入れ替わる中、始業前の朝礼でスケジュール確認等の情報交換や連絡日誌を活用するなど、職員間の情報共有化を図り、円滑な業務運営に努めた。 情報発信にあつては、公民館ホームページの随時更新に努めるとともに、館報については関心と呼ぶよう工夫し、こども園、小中学校等の関係機関への配布や、大根地区自治会への組回覧を通じた展開を行った。一部事業では、こども園、小中学校、市の関係部署、タウン紙にも周知の協力をしていただいた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5			公民館長の「地域まちづくりコーディネーター」兼務や、「大根中学校区子どもを育む懇談会」等の地域ネットワークへの参画が、地域との連携につながっている。 夏休み期間中の子どもの居場所づくりと学習支援のための「学習室無料開放」は5年目となり、ひろはた自習相談室の先生方の協力もいただくことによりソフト面での支援体制も整い、大いに利用されている(実施している9館中、利用者数第1位、全体の38%。R4年度は27%)。 マスク着用なしで、ほぼ通常体制での開催となった「おおね公民館まつり」「おおね音楽祭」では、地元の大根中学校、秦野高校の生徒も出演し、さらには地元・東海大学の学生ボランティアが運営に関わるなど、大根地区ならではの地域力も生かすことができた。また、東海大学との連携は、複数の講座にも生かされた。 誰もが気軽に参加できる企画展示イベントについては、関心を高めるため年間を通してのスタンプラリーを実施した(令和4年度開始)。資料コーナーの充実など各種情報の提供にも配慮した。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	5			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			利用について、ソフト面では概ね満足されていると思われるが、ハード面ではエレベーターの設置の要請は強い。そのためにも、公民館整備の方向性の早期明確化が望まれる。 利用者からは、市役所の出先機関として期待もあり、利用者が見やすい案内表示や、資料等の配架にも配慮した。 図書室では利用者を歓迎する飾り付けをしたり、本への関心を誘うお勧め本のコーナーを設けるなど、利用者へ積極的に働きかけた。 積年の懸案であった屋上防音壁の修繕、駐車場西側階段脇の石積の改修、館内全ての窓への網戸の設置のほか、敷地内樹木の大規模剪定も実施し、安全で安心な環境整備に努めた。年度末には、故障した陶芸用灯油窯、多目的ホールの空調設備の修繕も行った。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	社会全体が徐々にコロナ禍から通常体制へ移行していくなか、自主事業については、予定どおりに実施することができ、参加者数もコロナ禍前に戻ってきた。 ほぼ通常体制で開催した「おおね公民館まつり」と「おおね音楽祭」は、コロナ禍の数年間を経て参加団体や実施体制の変化があったが、利用団体や関係諸団体と調整したうえで、地域力も活かしつつ、安全かつ盛況のうちに実施することができた。 老朽化が著しい施設・設備の機能維持や、敷地環境の維持管理にも心を砕いた。引き続き、安全安心な施設管理、事業運営を継続していく。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	コロナ禍から脱却し通常体制へ戻りつつある中、時代や社会の大きな変化に対応して、新規事業の取組や事業の継続、再構築への努力を重ねてきたことは評価できる。 昨今は地震や風水害が頻発し、多くの人が、人と人との結びつきの大切さを改めて実感している。これからも時代や社会の変化をとらえ、地域の様々な力を生かしつつ、誰もが安心して利用できる生涯学習の場の提供に努めてほしい。 通常体制化による実施事業数の増加、市の出先機関としての業務負担の増大も課題だが、関係機関・地域団体等との連携やボランティアの活用拡大などに引き続き進めてほしい。 施設については、エレベーターの設置が強く求められているが、抜本的な施設のあり方も中長期的課題である。そのうえで、市の連絡所や風水害時避難所であることを考えると、まずは電気設備の更新等の事業継続と安全対策を検討されたい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	夏休み学習室開放の取組みについては、学習支援を目的に、ひろはた自習相談室の先生の支援を得て実施しており、地域連携が行われている。また、毎夏開催されている東海大学の学生ボランティアによる子ども科学教室については、小・中学校への呼びかけと、定期的の実施していることから、利用者数が増加していることも評価できる。 加えて、この地域の特性である東海大学や秦野高等学校と密に連携することで、学生が学生ボランティアとして地域行事へ参画し、地域全体が活性化されるため、今後もこの地域ならではの講座や事業に期待したい。 図書については、小学校2年生を対象に図書館カードを配布し、多くの子ども達が本に触れる機会を創出されていることが評価できる。 施設面については、公民館の更新時期などの課題があるため、対応することが難しいが、エレベーターや空調等、利用者に寄り添った公民館運営が求められる。

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立東公民館								
職員数		8名	(内訳)	館長	1名	公民館職員	4名	図書職員	3名	
対象エリア		面積	29km ²		人口	16千人				
施設	開館年度	昭和56年度			構造	RC造2階建				
	延床面積	1,063.86m ²			敷地面積	2,424.60m ²				
	室名	■多目的ホール ■集会室A ■集会室B ■和室 ■調理室 ■小和室								
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考				
収入	施設使用料	1,554	1,524	1,416	1,599					
	参加者負担金	46	81	77	73					
	軽印刷その他雑入	147	176	271	254					
	計	1,747	1,781	1,764	1,926					
支出	活動費(0101)	201	224	264	188					
	維持管理費(0102)	7,502	6,981	7,005	9,120	光熱水費、委託料等の増				
	事務費 (0103)	人件費	10,450	10,276	10,881	13,088	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増			
		その他	523	613	631	747				
	計	18,676	18,094	18,781	23,143					
	営繕工事費(0200)	0	0	0	3,600					
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考			
	利用 状況	利用者数	18,634	23,244	29,503	32,000				
		利用件数	1,787	2,049	2,344	2,500				
		利用日率	54.1%	62.5%	67.0%	68.0%	使用日数／開場日数			
	事業	事業日数	65	72	76	79				
		参加者数	788	1,587	4,346	4,400				
	図書室	利用者数	4,072	3,752	4,469	4,800				
	連絡所	住民票等取扱件数	3,864	3,860	3,313	—				
令和5年度方針		生涯学習の拠点として、地域住民にさまざまな学びの場を提供し、知識や技能の向上を支援する。また、地域まちづくりの中心として、コミュニティの結びつきを深め、文化や伝統を育む。 さらに、安全安心の拠点として、また、東地区連絡所として住民の生活に密接に関わる行政サービスを提供し、行政と地域の懸け橋としての役割を果たす。 東公民館はこれらの機能を調和させながら、温かみのある便利な施設として、子どもからお年寄りまで誰からも身近に感じていただける施設を目指す。								
令和5年度改善事項		「実朝まつり」が4年ぶりに開催されたが、公民館も開催に合わせて、手作り甲冑の展示、歴史的資料や観光資料の展示、また、養毛大日堂の特別拝観や金剛寺の開帳に合わせた掲示など、地域の歴史、文化、観光のPRに務めた。 また、健康ウォークと野鳥観察の事業では、酒匂川の下流で行うことから二宮尊徳を学ぶ機会を組み込むこととし、コースに小田原市の報徳記念館を組み込み、好評を得ることができた。「まぼろ道しるべの会」に講師を依頼して実施している「古道大山道を歩く」、ネイチャーウォッチングクラブに依頼して実施している「自然観察ウォーキング」などでは、何を楽しむことができるかなどの目的や内容を具体化してPRすることに留意したことが参加者増につながり東地区を再認識していただくことに繋がった。 自主事業についても、職員の経験や知識を生かし、「楽しいこども絵画教室」、「プロに学ぶイラスト教室—マーカーでイラストを描いてみよう—」などの新たな事業の実施、利用者の少ない調理室を活用した「親子クリスマス料理」などの新たな事業を実施することができた。								

評価:5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			歴史や自然などの資源が多い東地区であり、公民館事業でも地域資源を生かした事業実施に務め、「大山道を歩く」、「自然観察ウォーキング」、「大豆も麹も秦野産のみそづくり」など、東公民館らしい事業を実施した。 また、館報に事業参加者の声を取り入れ、館で活動するサークルの紹介や仲間募集など、読者が身近に感じるとともに参加できる情報提供に努めた。 そのほか、広報はだの、まほろば通信、ホームページ、館内や他の公民館等へのポスター掲示、館報、学校へのチラシの配布などにより積極的な周知に努めた。 館の運営では、大学生のインターンシップを受け入れたが、学生に説明する必要から事業を見直すことにもなり、全員参加のミーティングの実施などとともに、効果の高い自己研修の機会になっている。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			月例のまちづくり実施委員会に出席し、地域課題の把握及び職員間の共有に務めた。また、地区体育協会と協力した地域再発見ハイキングの共催、地域人材を講師として活用したお飾り作りを実施した。 「親子フラダンス体験教室」は、事業終了後に子どもフラダンスサークルとして新たな活動が始まり、公民館まつりへの参加や夏と冬に行っているハワイアンフェスティバルに参加いただき、公民館の賑わいを感じられる活動になっている。 公民館まつりでは自主的な感染対策に留意しながらも、制限のない通常開催としたが、子どものダンスや和太鼓の新たな参加もあり、普段の活動の賑わいも感じていただき、参加団体にも見学者にも楽しんでいただくことができた。 生涯学習、社会教育施設として、より多くの方に利用していただくため、活動団体のPRや会員募集に、館内掲示や館報紙の利用を積極的に勧誘し務めた。 学校連携については、東小中学校区CS及び運営協議会の話題や課題を、職員間で共有するように努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			記載方法などが難しい証明書発行申請者には声掛けにより説明や不安解消に努めた。チラシや健康診断の申込書など利用者ニーズの高いものを目立つ場所に配架した。 貸室利用者への声掛けに努め、アットホームな居心地の良い環境づくりに努めている。 図書室については、季節や各賞の発表などに合わせた関連本の展示や紹介、利用者への声掛け、時宜に応じたタイムリーな展示、ディスプレイや配架の工夫など利用しやすい図書室づくりに心がけた。 この結果、親子連れでの図書室利用が増えているように感じている。 多目的ホールに鏡がないことが子ども達のダンスサークルの利用が進まない原因になっているので、この整備は早期に実現したいと考える。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	公民館は社会教育活動の拠点施設であるが、当公民館は東地区における自治会など地域活動全般拠点であり、このことは職員の共通理解となっており、公民館利用者へのあいさつや声掛けなどを通じて利用者との信頼関係が築かれている。 公民館まつりでは、新たに地域の保育園の和太鼓演奏に参加いただき、去年は中止した模擬店も再開することができて賑わいを作り出すこともできた。 地域まちづくりでは、県立秦野支援学校により1年に2回、前庭の清掃をしていたが、同じ東地区にある施設として連携が進むことになった。 こども武者行列で使用する甲冑の展示は、ただディスプレイするだけでも効果的であるが、実朝まつりのPRとともに東婦人会の活動をお知らせすることにもなった。 公民館玄関脇壁面への観光拠点案内板の設置とパンフレットの配架などは、公民館の地域拠点としてのあり方を含めて利用者や地域からも高評価であった。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	本市では、公民館はもっとも身近な学習拠点であるとともに、地域のまちづくりや安心・安全の拠点としても、また、市役所の連絡所としても重要な施設となっており、東公民館の運営でも様々な機能を有する利用しやすい施設として運営に取り組まれている。 また、小学生を対象にする寺子屋形式による学習支援教室「東っこチャレンジ教室」が行われ、小中学校の図書室と公民館図書室との連携による児童生徒の読書啓発の取り組みも始まった。子ども達の学校外の居場所や学習する機会の場ともなり、地域で子ども達を育むことにも取り組まれている。 今後も、子ども達も含めた地域住民や利用者のニーズを把握し、利用団体などとの連携のもとに、柔軟に多様な事業に取り組まれることが期待されている。既に、新たなサークルの立ち上げ支援、メンバー募集、活動のPR支援などが行われているが、月間事業のPRなど、館内掲示の整理充実にも取り組んでいただきたい。 一方、建築から40年を経て、施設の老朽化が進んでいる。カーテンやソファなどの設備や備品の改修、また、ダンス用のウォールミラーの設置、ICT機器の充実など時代に合った機能の充実、人気の高いお菓子やパン作りに対応できるオープンなどの調理器具の更新や充実など、魅力ある公民館のために計画的に行っていく必要がある。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	東公民館では、公民館職員が館報をローテーションで作成している。これは、公民館職員が地域のことを深く理解し、地域住民へ情報発信しているため、地域の魅力を知る大きな研修の役割となっている。今後も継続して実施されたい。 地域との関わりにおいては、東地区にある県立秦野支援学校と連携し、生徒が公民館の庭を掃除するなど、地域を支え合う様子が伺える。 公民館事業では、公民館独自の企画が多く、講座終了時に参加者に対してアンケートを実施し、公民館運営に住民意見を反映するなど、積極的な行動が高く評価できる。また、地域に様々な講師がおり、創意工夫を図ることで、子どもを対象とした講座や地域資源を活用した講座など地域住民のニーズに沿った講座を展開したことも評価したい。 図書については、郷土史関連の本が充実しており、東小・中学校の図書室とも、校長と館長が協議のうえ、新着本情報を共有するなど、他館にはない新たな取り組みが高く評価できる。

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立鶴巻公民館					
職員数		8名 (内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	2.4km ²	人口	14.7千人		
施設	開館年度	平成2年度		構造	RC造2階建地下1階		
	延床面積	1,369.46m ²		敷地面積	1,936.09m ²		
	室名	■多目的ホール ■コミュニティ室 ■和室 ■音楽室 ■創作活動室 ■調理室					
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,145	3,099	3,065	3,455		
	参加者負担金	10	26	17	17		
	軽印刷その他雑入	142	191	154	313		
	計	3,297	3,316	3,236	3,785		
支出	活動費(0101)		139	155	166	226	
	維持管理費(0102)		6,264	8,234	8,327	9,580	光熱水費、委託料等の増
	事務費 (0103)	人件費	10,035	10,635	10,611	13,087	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増
		その他	440	492	941	750	
	計		16,878	19,516	20,045	23,643	
	営繕工事費(0200)		0	4,272	36,281	0	
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	26,502	31,757	31,923	32,000	
		利用件数	2,716	2,973	2,738	2,800	
		利用日率	64.7%	70.3%	67.2%	70.0%	
	事業	事業日数	29	41	42	45	
		参加者数	536	1,955	3,070	3,200	
	図書室	利用者数	9,166	9,488	8,998	9,500	
	連絡所	住民票等取扱件数	2,618	2,319	1,958	—	
令和5年度方針		地域コミュニティ活動の拠点として、地域住民の自主的な活動を支援するとともに、各種事業を実施することにより、地域住民の教養の向上を図る。 さらに、地域、学校との連携、協働の強化に努める。					
令和5年度改善事項		屋外活動(ポールウォーキング、親子自然発見隊)やものづくり(折り紙、切り絵)など新たな視点での事業を実施し、参加者のすそ野を広げた。 図書室内で読書や勉強する人が多いため、テーブルや椅子の配置を見直し、また、本のレイアウトを工夫するなど、快適に利用できるよう心がけた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会の意見や市民提案などに加え、新たな視点を取り入れた自主事業(新規事業8本)を実施し、参加者の増加が図られた。 自主事業の周知には、「広報はだの」のほか、ホームページの充実、4半期ごとの自治会組回覧、小中学校へのチラシ配布などを行い、参加を呼びかけた。 夏休み期間中には、子どもを対象とした事業を増やし、その周知には図書室や児童室を活用した。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			まちづくり協議会、鶴巻中学校区子どもを育む会や市政懇談会などにより、地域課題の把握に努めた。 毎月開催した防災・減災サロンでは、参加者がより防災に関する知識を身に着けることができるよう、AEDの使い方講座やビニール炊飯などの体験型の講座も実施した。 地区社協と共催で実施した子育て支援講座や地域高齢者支援センターとの認知症にやさしい街づくりを目指したイベントなど、生活や現代的課題に関する事業も実施した。 小中学校の郊外活動や学習支援団体の積極的な受け入れ、夏休みに学習室として使える施設等を工夫するなど、学習の拠点としての取り組みを充実させた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題のに関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			ガラス屋根改修のため、ホールの利用制限や一部施設の出入り口変更などを行ったが、事故や苦情等もなく、無事、新たな屋根が架かり、日光が直接入ることによる夏の厳しい暑さ(空調運転の節電)と長年悩まされてきた雨漏りから解放され、快適な環境整備が図れた。 図書室は、年3回図書入れ替えを行い、新着やおすすめ本を目につきやすい場所に配置、特に児童書の充実に努め、入口近くにジャンル別に分かりやすくレイアウトするなど、利用者の利便性向上に努めた。また、照明のLED化により室内が大変明るくなり、勉強や読書する人も増えたため、室内の机やいすの配置も工夫した。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	子どもを対象とした事業を増やすことなどにより幅広い層の参加に努め、地域や現代的課題へ取り組むなど、一定の成果が見られた。 施設面では、ガラス屋根の改修により、強い日差しや室温の上昇を防ぐことができ、ロビーやホール内で快適に過ごせる環境を整えることができた。 また、照明のLED化により、館外も明るく照らすことができ、防犯面など利用者の安全確保を向上することができた。 公民館まつりは、制限撤廃によりコロナ以前のように多くの参加、来場があり、館内は活気にあふれ、地域の方々の交流の輪を広げることに繋げることができた。 引き続き、学校、地域、団体との連携を深め、地域に根差した活動を展開していきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	公民館で実施する事業は、市民からの企画・提案によるものを推進し、地域住民の自主的・積極的な活動がより定着してきていることに加え、利用者等からの新たなニーズを取り入れ、幅広い年代が参加できるよう工夫していることは評価できる。 また、能登半島地震以降、市民の防災に関する意識が高まり、「防災・減災サロン」の参加者も増加傾向にある。タイムリーなテーマを取り上げ、継続して地域の課題に取り組んでほしい。 昨年は施設の大規模改修を行い、安全・安心に利用できる環境も整ってきている。公民館は、地域の社会教育、交流の拠点であることから、今後も多くの人に愛され、地域と共に歩む公民館活動を支援していきたい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	昨年度課題であったガラス屋根と雨漏りについては、工事が完了し、利用者が利用しやすい環境になった。また、館内への出入口が多数あり、防犯上の懸念があったが、防犯カメラが設置されることで、利用者が安心・安全に利用できるようになった。 公民館事業については、市民提案型による講座など、8講座が新規で開催され、積極的な姿勢が伺える。加えて、毎月実施している防災・減災サロンは、能登半島地震後、地域住民の防災意識が向上している中で、必要課題であり、鶴巻地区で起こりうる水害など、日頃の備えにも繋がることから、今後も継続して実施されたい。

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立上公民館					
職員数		8名 (内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	12.4km ²	人口	2,017人		
施設	開館年度	平成5年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	859.54m ²		敷地面積	1,176.16m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■和室 ■集会室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,106	884	1,032	1,148		
	参加者負担金	20	20	26	25		
	軽印刷その他雑入	80	86	83	207		
	計	1,206	990	1,141	1,380		
支出	活動費(0101)		162	159	148	183	
	維持管理費(0102)		5,697	6,872	7,837	8,646	光熱水費、委託料等の増
	事務費 (0103)	人件費	10,273	10,539	10,756	13,087	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増
		その他	415	482	600	818	
	計		16,547	18,052	19,341	22,734	
	営繕工事費(0200)		5,528	0	19,053	0	令和5年度は受水槽更新工事、館内照明LED化工事を実施
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考
	利用状況	利用者数	9,257	10,698	10,440	11,000	
		利用件数	967	987	958	1,000	
		利用日率	34.6%	36.9%	30.3%	40.0%	
	事業	事業日数	46	66	62	70	
		参加者数	730	2,432	2,259	2,500	令和5年度公民館まつり参加者約1,500人
	図書室	利用者数	1,659	1,605	1,592	1,600	
	連絡所	住民票等取扱件数	813	730	638	—	
令和5年度方針		令和5年度の上公民館運営方針は、上地区のまちづくりや生涯学習の拠点施設として、地区内の自治会、幼稚園、小学校、及び利用者団体等と連携をより深めるとともに、地区の特性を生かした各種事業を積極的に取り組むことを目指す。					
令和5年度改善事項		新型コロナウイルス感染症の位置付けの移行に伴い、従来からの事業計画を確実に実施することはもちろん、従来なら規制されていた事業などを確実に再開することで、公民館の活性化に努めた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			講座を実施した際に、参加者の感想や今後のニーズなどを的確に捉えるとともに、公民館運営協議会における意見等を反映することで、市民の視点に立った自主事業の運営に努めている。 また、公民館まつり開催に当たっては、コロナ禍以降の通常開催に向け、協議・検討を重ね、参加団体等の理解のもと開催することができた。 なお、職員等の研修機会の確保に代わり、館長が県の公民館大会に参加し、職員に研修情報の提供を行った。 さらに、公民館の情報発信については、館内掲示やホームページの更新、館報、広報はだのへの掲載などに広く周知に努めている。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	3	3	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			まちづくり関係については、上地区まちづくり委員会へ出席し、総合計画の地区まちづくり計画を通して、地区のまちづくりの課題を地域と共有している。 また、地域伝承行事については、地域の自治会や関係団体、幼稚園・小学校等と協力し、コロナ禍以前の水準に戻すことができた。 なお、かみ放課後子ども教室については、関係者の協力のもと、コロナ禍以前の内容に戻りつつあり、今後もボランティア等の協力のもと、事業内容の充実に努める。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			市中心地からの離隔距離など、上地区の特性に基づき、地域にお住まいの方の利便性の向上、市民に親しまれる施設として、施設の利用環境の向上に努めている。 また、図書室については、市立図書館の分館的機能はもちろん、季節ごとの壁面飾りを実施するなど、利用環境の向上に努め、利用者とは気軽なコミュニケーションを図りつつ、新着本の配架や紹介等を効果的に行うよう心掛けている。 なお、施設設備等に対しても利用者の特段の苦情はないが、適切な維持管理に努め、今後も利用率の向上を図っていく。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	公民館の利用状況は、コロナ禍前の状況に戻りつつあり、自主事業なども通常開催できる状態になってきている。 また、公民館まつりにおいても、参加人数及び団体数も回復傾向にあり、従来のにぎわいが復活してきている。一時期、新型コロナウイルスに代わり季節性インフルエンザの感染者数が増加し、今後の事業実施に影響があるかと思われたが、その心配も無く今後の事業の企画に期待できる。 なお、上公民館の特色でもある館内展示は、地域や学校、利用者団体等の協力を得ながら、伝統行事の展示も含め大変好評である。今後は、上地区という地域特性を生かし、上地区でなければできない事業、地区の活生化に繋がる事業、社会現象である高齢化等に対する事業などを模索し、自主事業の充実に努めていきたいと考える。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	公民館の役割は、地域のまちづくりの拠点であるとともに、地域の人達が集える場所であるため、地域の資源を活用した事業や、地域の人達との結びつきを強める事業など、今後も積極的に取り組んでいただきたい。特に上公民館の特色は、地域との結びつきを生かした事業展開と、地域の伝統行事を丁寧に伝承していくことである。 しかしながら、地域の伝統行事の指導者が年々高齢化し、今後、後継者問題等が生じる恐れがあるため、公民館においてもこれらの行事がしっかり継承できるよう、協力をお願いしたい。 さらに、生活様式の変化に伴い市民ニーズが多様性し、市民が求める講座も時代とともに変化している。そのため、それに対する企画力や実行力も公民館に求められているので、今後も職員のスキルアップを心がけて頂きたい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	上地区は地域住民が少なく、他地区からの利用も多くはない。その一方で、地域性を生かし、地域に残る伝統行事や展示などを実施することで、子どもからお年寄りまで参加されていることは、公民館が地域の活動拠点として、重要な役割を果たしていることが伺える。また、新規事業として、ポールウォーキングやアロマセラピー講座などを開催し、積極的な公民館運営がされている。 図書室は、利用者が親しみやすいよう整理整頓されており、本を手に取りやすい工夫が施されている。 かみ放課後子ども教室は、地域のボランティアの協力のもと、地域一体となって実施されている。今後についても、事業内容の充実等に焦点を置きながら、活発な事業展開に期待したい。

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立渋沢公民館					
職員数		8名 (内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	7.0km ²	人口	15千人		
施設	開館年度	平成7年度		構造	RC造地上2階地下1階建		
	延床面積	1,467.15m ²		敷地面積	2,270.70m ²		
	室名	■多目的ホール ■集会室 ■音楽室 ■和室 ■創作活動室 ■調理室					
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,936	2,074	2,213	2,421		
	参加者負担金	57	36	33	32		
	軽印刷その他雑入	224	296	337	344		
	計	2,217	2,406	2,583	2,797		
支出	活動費(0101)		152	132	146	183	
	維持管理費(0102)		6,990	7,676	7,494	9,011	光熱水費、委託料等の増
	事務費 (0103)	人件費	10,098	10,330	10,580	13,087	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増
		その他	466	506	527	918	
	計		17,706	18,644	18,747	23,199	
	営繕工事費(0200)		0	4,273	29,313	0	
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	19,799	22,342	24,047	30,000	
		利用件数	1,930	2,008	1,927	2,500	
		利用日率	59.7%	62.5%	61.2%	68.0%	
	事業	事業日数	65	61	39	42	5・6年度は「ほっとサロン」を除く
		参加者数	1,433	1,600	1,903	3,200	5・6年度は「ほっとサロン」を除く
	図書室	利用者数	7,047	6,042	5,517	7,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	2,134	2,068	1,760	—	
令和5年度方針		渋沢丘陵など、地域特性を生かし、季節感のある事業を行うとともに、地域の交流拠点として、子どもから高齢者まで、大勢の方々に来館していただけるよう、利用団体及び関係機関等との連携を図り、公民館活動を積極的にPRし、わくわく、生き生きできる公民館を目指す。					
令和5年度改善事項		新型コロナウイルスの分類が5類に移行、室内換気を行い、手指消毒等の基本的感染防止対策に留意し、施設利用や自主事業を実施するとともに、館内には季節に応じた装飾を行い、利用環境の向上に努めた。 公民館の各種情報を「渋沢公民館情報」を館内掲示、ホームページで公開した。また、デジタルデバインド(情報格差)の解消の取組として、高齢者を対象とした「シニア向けスマートフォン教室」を実施した。 施設関係では防犯カメラを設置し管理体制を向上、全館LED照明に、トイレを洋式に、受水槽及び陶芸窯の改修を行い、施設や機器の維持管理に努めた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			地域住民や施設利用者の意見・要望を聴取するとともに、自主事業の参加者に随時アンケート調査を実施し、公民館運営に関わるニーズの把握に努め、渋沢丘陵や八重桜など地域の特性を生かした事業を行った。 公民館運営協議会を年2回開催し、事業運営に係る協議を行い、職員には文書等で各種研修の周知を図るとともに、職員相互の情報交換に努め、事業及び事務処理等の適正化に努めた。また、自主事業については、引き続き広報はだのやホームページを活用し情報を発信、チラシを作成して館内に掲示するとともに、市内各館に配布しPRを行った。なお、夏休み子ども向け事業については、地域の小学校全学年へチラシ配布を実施し、事業のPRに努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			まちづくりの拠点としての役割を果たすため、公民館利用団体及び地域と連携し、ニーズの把握に努め、事業運営を行った。 公民館まつりは、飲食の部等一部制限をしたが、「通常開催」とし、参加希望団体による発表並びに展示を実施した。活動を開始した団体や空手の型の披露等新たな参加により新鮮な発表があった。高齢者向けの事業では、「渋沢ほっとサロン」と連携し、年間を通じて、健康体操、音楽会、ゲーム等多様な内容による交流事業を行った。また、デジタルデバインド(情報格差)の解消を図るため、「シニア向けスマートフォン教室」及び認知症理解のため、「世界アルツハイマー月間」に伴い、渋沢地域高齢者支援センターによる展示を行った。 学校関係では、渋沢小・中学校学校運営協議会、子どもを育む協議会に参加、引き続き夏休みの学習室開放は、地域の拠点として学習を伴う「居場所づくり」を継続するとともに、中学生対象に教育指導課で「はだのっ子学びの教室」を開催した。 丘の上の立地及び高齢化等により団体登録を廃止する傾向があるが、自主事業から団体活動への展開や既存団体への入会等を積極的に行った。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			利用者や地域住民等に積極的に声掛けを行うとともに、展示や掲示物を整理し、明るく親しみやすい雰囲気づくりに取り組んだ。 室内換気等新型コロナウイルスの感染防止に引き続き留意した。備品使用の取扱い方法を貼付するとともに、随時口頭説明を行い周知徹底を図った。 館内及び図書室では、季節ごとに壁面飾りを作成、四季折々の風情が感じられる掲出を行った。また、図書室では引き続き「家読」の推進活動を実施している。施設では、防犯カメラを設置し死角となる地下出入口や駐車場のモニター監視が可能となった。全館の照明をLED化、令和4年度から2か年度でのトイレ改修、受水槽、陶芸窯の修繕により、利用環境の改善を図った。なお、施設の老朽化により、外壁及び各設備等について計画的な改修を行う必要がある。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	新型コロナウイルスが5類に移行したが、換気等基本的感染防止対策に留意した。 公民館まつりは飲食の部を再開し、通常開催とした。参加団体が様々な工夫をこらした活動成果の発表や作品展示を通して、地域交流の輪が広がり、通常開催ならではの盛り上がりがあった。新たに屋上を飲食場所として開放し好評であった。 3月に本館を拠点とし、昨年に続き2回目となる「八重桜まつり」を開催、渋沢小学校と八重桜関係者が集い、児童の発表、地元資源の「八重桜」を利用した取り組みにより、地域住民と学校が公民館で結びつきが深まるイベントであった。この2つの「まつり」は地域が元気になる事業として実施することができた。 また、夏休み学習室開放、はだのっ子学びの教室等の開催により学習の拠点としての事業を行った。 施設では、防犯カメラの設置による施設管理体制の向上、LED照明、トイレ改修、陶芸窯の修繕対応、施設案内表示及び季節の装飾等により利用環境整備を行った。 自主事業の周知・情報提供について、ホームページで閲覧できる「渋沢公民館情報」では、事業開催案内や講座リポートを掲載し、館内掲示と併せて情報発信に努めた。 引き続き地域・利用団体等と連携し、子どもから高齢者まで「わくわく、生き生きできる公民館」となるよう、努力していきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	新型コロナウイルス分類の5類移行後も、換気等利用者と公民館が共通認識を持ち、自主事業、公民館運営を行っている。飲食の部を再開した「渋沢公民館まつり」は、公民館と利用団体の連携によるものであり、小学校、八重桜関係者による「八重桜まつり」は渋沢地域特産物の八重桜を守り伝えていくための事業で、公民館を拠点として地域住民や学校との結びつきが感じられる。渋沢小・中学校学校運営協議会等へ参加し、教育機関との連携、夏休み学習室開放、「はだのっ子学びの教室」において、学習の拠点としての事業を実施している。 また、高齢化が進んでいることから、高齢者対象の「渋沢ほっとサロン」が多様な内容で実施され、認知症に係る展示、シニアスマートフォン教室等、高齢者対象事業は継続して進めてほしい。 ホール入口や図書室において季節ごとの壁面飾りにより、利用者に寄り添った明るく親しみやすい雰囲気づくりが継続されている。また、施設では全館LED化により館内が非常に明るくなり、トイレの改修が完了したことから、非常に利用しやすくなっている。館内掲示物は、市からの配布物、団体の加入案内、各種イベント等分野ごとに整理されて分かりやすくなっている。 利用環境の整備、渋沢公民館情報、チラシやホームページ等を活用し事業のPRに努め、引き続き渋沢丘陵や八重桜など地域及び地産特性を生かした事業を展開し、生涯学習・地域学習の拠点として、渋沢公民館の活動を推進してほしい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	公民館事業では、ほっとサロン、シニアスマホ教室など、利用者から満足度の高い講座を開催していることに加え、関係各課と連携し、渋沢学びっ子クラブを開催することで、学習支援の機会を創出していることは高く評価できる。また、地域資源を活用した八重桜まつりでは、地域住民と児童・生徒が相互に交流する場として、渋沢公民館を利用することで、生涯学習・地域づくりの拠点を担っていることが伺える。 施設においては、館内が整備されており、落ち着いた空間となっている。 図書室においても、多くの本が整理整頓されており、利用者が本に親しみやすいような工夫が施されている。また、令和5年度から玄関周辺や地下駐車場など見えにくい場所へ防犯カメラが設置することで、利用者が安心して利用できるようになった。今後も地域の拠点として、地域住民に寄り添った公民館運営に期待したい。

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立本町公民館					
職員数		8名 (内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	6 km ²	人口	20千人		
施設	開館年度	平成8年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,613.58m ²		敷地面積	1,500.25m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室A ■集会室B ■創作活動室 ■音楽室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,787	3,815	3,605	4,096		
	参加者負担金	96	125	141	136		
	軽印刷その他雑入	294	295	277	317		
	計	4,177	4,235	4,023	4,549		
支出	活動費(0101)		177	194	233	196	
	維持管理費(0102)		8,744	11,922	10,336	11,096	光熱水費、委託料等の増
	事務費 (0103)	人件費	10,222	10,194	10,237	13,086	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増
		その他	525	516	716	764	
	計		19,668	22,826	21,522	25,142	
	営繕工事費(0200)		1,210	28,984	20,652	3,600	
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	42,868	49,276	61,804	65,000	令和6年度目標値は5年度実績の5%増
		利用件数	3,663	3,916	4,375	4,600	
		利用日率	77.5%	79.8%	83.6%	87.7%	
	事業	事業日数	60	57	72	78	令和6年度事業計画による
		参加者数	1,770	2,320	7,672	8,100	令和5年度公民館まつり参加者6,080人
	図書室	利用者数	13,933	13,299	13,535	14,000	新規事業「子どもまつり」の実施
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
	令和5年度方針		地域の生涯学習やまちづくりの拠点として、利用団体や関係機関と連携し、市民ニーズを踏まえた自主事業の展開を図るとともに、利用団体の活動成果を発揮できる場を提供していく。 また、利用者ファーストを念頭に、迅速、親切、丁寧な接遇とともに、誰もが気軽に集い、頼られる公民館を目指し、ロビーワークを重視した運営に努める。				
令和5年度改善事項		新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが大幅に緩和され、積極的に時代や市民ニーズを的確にとらえた自主事業を展開することができた(前年度と比べ11事業15回の増)。 また、大型商業施設に隣接し、多くの来館者がある中で、職員の声掛けによる情報提供、ロビーや展示コーナーを有効活用した作品展示や啓発の充実に努め、人と人を結び、触れ合う場の提供に心掛けた。 施設管理面では、照明設備のLED化をはじめ、多目的ホールの電動ステージやブラインドの改修、受水槽緊急遮断弁修繕に取り組み、安全で快適な利用環境の確保に努めた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会からの提案や意見をはじめ、講座終了後のアンケートや窓口での来館者とのやり取りなどを通じて、事業の見直しや施設の管理運営に努めた。 職員の研修機会は少なかったが、職員相互の情報交換の場を設け、共通意識に基づいた事務処理の適正化を図った。 事業の周知は、随時ホームページを更新するとともに、広報はだのやマスコミへの情報提供、館内や他館等へのポスター掲示、館報の自治会回覧などを通じて積極的な情報発信を行った。特に、人通りが多い隣接の型商業施設のくすのき広場に向け、広場側の広い窓に事業開催ポスターを貼付し、効果的な集客ができた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	2			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			まちづくりの拠点としての役割を果たすため、自治会をはじめまちづくり委員会構成団体と連携し、地域課題を把握するとともに、各種団体が活動しやすい環境の確保に努めた。特に、公民館長が地域まちづくりコーディネーターを兼務することで、地域との連携はさらに深まった。 事業には、地域人材を講師や実行委員として活用し、資産運用や応急手当、災害時高齢者支援、スマートフォンなどの生活・現代的課題の解消に向けた各種講座も実施した。また、「公民館まつり」に、まちづくり委員会構成団体が参加するなど市民の交流や活動の成果発揮の充実に努めた。他館にない展示コーナーでは、展示以外にもコンサートなどの催しの場として活用を図った。 学校との連携は、末広小学校・本町小中学校の学校運営協議会に参画するとともに、「公民館まつり」でも園児から高校生までが出演する「はだのっ子ステージ」を今回から開催し、また、本町小中学校の社会見学受入れを行ったほか、多くの子ども向け事業に取り組んだ。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			利用者が気持ちよく利用できるよう、窓口対応三カ条に基づき、積極的な声掛けを行い、親切丁寧な対応を心掛けた。また、大型商業施設に隣接し、人通りの多い通路やロビーには、様々な情報媒体や季節ごとの展示物を掲出するなど、市民が気軽に立ち寄れる環境づくりを目指した。 図書室では時節に合わせた資料の展示や貸出を積極的に進め、また、利用の多い高齢者に配慮した文庫本の所蔵を心掛けるとともに、子どもの読書活動を推進するため、新規登録者にオリジナルカードを贈呈した。 施設整備では、照明設備のLED化、多目的ホール電動ステージやブラインドの改修、受水槽緊急遮断弁修繕に取り組んだが、今後も施設の長寿命化と利用環境の確保に向け計画的な改修が必要である。
	利用者への対応は適切か	3			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	5			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	利用状況は前年度に比べ人数で約25.4%、件数で約11.7%とそれぞれ大幅に増加した。また、自主事業も市民ニーズや現代的課題を踏まえ、新規事業13事業を含む42事業72回を実施し、1,592人(前年度比332人の増)が参加するなど、活気あふれる活動を進め、一定の成果が見られた。 「公民館まつり」もこれまでの「発表会」から名称を変更し、利用団体の成果発表だけではなく、新たに園児から高校生が出演する「はだのっ子ステージ」や、隣接の「イオン秦野ショッピングセンター」をはじめ本町地区まちづくり委員会、地域福祉団体と連携した「模擬店」も取り組み、参加者6,080人が交流と絆を深めた場を提供することができた。また、本町公民館の特色でもある展示コーナーやロビーでの館内展示の充実も図り、利用団体や来館者から大変な好評を得た。 施設整備は、来館者の理解と協力の下、円滑に多様な改修を進め、安全で快適な環境整備に取り組むことができた。 今後も、地域や利用団体等と連携し、地域の生涯学習やまちづくり、交流の拠点となるよう、地域に根差した活動に取り組むとともに、来館者の利便向上に努めていきたい。
内部評価	評価	
運営協議会委員	4	地域の学びやまちづくりの拠点である公民館の役割を果たすため、自主事業に当たっては積極的に地域資源や人材を活用するとともに、市民ニーズや時代の要請に応じた取組みを展開していることは、高く評価できる。さらに、地域のまちづくり団体や学校等とも連携を強めており、「公民館まつり」では地域力と市民力を大いに生かした事業となった。また、昨年度指摘した展示コーナーの有効活用についても迅速に対応し、人と人を結び、触れ合う場になった。 一方で、大型商業施設に隣接し、多くの来館者がある中で、限られた人員での窓口対応の大変さは理解できるが、公民館方針にある「利用者ファースト」を念頭に、さらに来館者に寄り添い、親しまれるよう努めてほしい。
外部評価	評価	
社会教育委員	4	本町公民館は、商業施設の敷地内であり、立地や集客性が良いことから、利用者数が一番多く、中央公民館の立ち位置にある。利用者への対応機会が他館よりも多いが、新規事業として、商業施設との協働により、公民館まつりでの模擬店を開催したことや現代的課題に取り組むために地域人材を登用するなど、立地を生かした積極的な公民館運営の姿勢が見受けられる。 また、展示スペースでは、利用者に呼びかけ、募集することで、展示スペースを有効活用するなど、工夫が施されている。 今後も地域住民に気軽に立ち寄っていただけるような公民館運営を期待したい。

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南が丘公民館							
職員数		8名	(内訳)	館長	1名	公民館職員	4名	図書職員	3名
対象エリア		面積	3.0Km ²		人口	13.0千人			
施設	開館年度	平成9年度		構造	RC一部鉄骨造地上2階地下1階建				
	延床面積	1,490.84m ²		敷地面積	2,752.63m ²				
	室名	■多目的ホール ■集会室 ■音楽室 ■和室 ■セミナー室 ■創作活動室 ■調理室							
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考			
収入	施設使用料	2,854	3,098	3,667	4,137				
	参加者負担金	16	37	55	53				
	軽印刷その他雑入	288	316	351	344				
	計	3,158	3,451	4,073	4,534				
支出	活動費(0101)		129	176	196	188			
	維持管理費(0102)		5,322	9,319	8,363	9,075	光熱水費、委託料等の増		
	事務費 (0103)	人件費	9,229	10,392	10,663	13,269	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増		
		その他	454	505	477	648			
	計		15,134	20,392	19,699	23,180			
	営繕工事費(0200)		0	4,272	26,567	30,600	自家用消防設備更新工事		
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考		
	利用 状況	利用者数	29,599	35,811	37,886	45,000			
		利用件数	3,146	3,468	3,460	4,000			
		利用日率	70.8%	74.3%	71.1%	75.0%			
	事業	事業日数	55	62	74	80			
		参加者数	727	1,481	2,619	2,700			
	図書室	利用者数	10,524	9,776	9,464	10,000			
	連絡所	住民票等取扱件数	3,839	3,620	3,674	—	3月より市外戸籍請求開始		
令和5年度方針		令和5年度の南が丘公民館運営方針として、地域に開かれた公民館を目指し、誰もがつどい、まなび合う環境の整備に努めること、地域の人びとの生活課題を解決するための、情報提供および学習活動への援助・助言に努めること、各種団体やサークル活動の支援に努めること、ロビーワークを重視した運営の展開に努めること、市内公民館との連携協働の強化に努めること、関係機関や地域の諸団体との連携協働の強化に努めること、施設の適切な維持管理に努めること、また、地域住民の地域活動の拠点のほか、災害が起こった場合の避難所として関係部署と連携し、市総合防災システムの活用等により情報発信するなど機能の充実に努める。							
令和5年度改善事項		令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが、5月から5類に移行し、社会的制約が大きく緩和された。こうした中で、自主事業や「南が丘公民館まつり」はほぼ通常体制での開催ができ、地域の方々の交流の場の提供ができた。また、まつり実行委員会から、「2日間開催により、初日に参加者が少ない」、「屋外での販売・出店ができないか」などの意見があることから今後の開催に当たり工夫をした。 施設整備面では、トイレの改修工事(和式トイレを洋式トイレウォッシュレット化)が完了した。また、多目的ホール・音楽室・外構照明を除く館内照明をLED照明に更新した。未更新の照明は令和7年度の更新予定となっている。							

評価:5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			利用者説明会での意見及び公民館運営協議会委員の意見を参考に自主事業の見直しを図り、事業の充実に努めた。令和5年度は公民館運営協議会を年2回開催した。その他にも適宜、委員に情報提供を行った。 また、隣接する南が丘小中学校運営協議会や、南が丘中学校区豊かな心を育む協議会、南地区教育懇話会の構成メンバーとして関わることができた。 さらに、公民館自主事業の実施に当たり、広報はだの以外にも、公民館報(プロシード年4回)やホームページを随時更新、翔丘(2回)などで周知を図った。 また、各部屋の稼働率を向上させるため、新規事業を実施するなど空き室の利用促進に努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			公民館利用団体、南地区きれいな住みよい町づくり運動推進委員会の構成団体、各自治会との連携を密にして、地域の拠点としての公民館づくりに努めた。 また、25回目を迎えた公民館まつりについては、25団体・1,400名が参加して開催することができた。まつりの実行委員長については、南が丘8自治会のブロック長にお願いするなど、地域のイベントとして位置付けられるよう今後も連携協力を充実したい。 毎年、団体の活動内容や会員募集状況が分かる利用団体一覧表を冊子としてまとめ、参加希望者へ配布するとともに、この冊子により学習相談に応じ、公民館が団体と利用希望者との仲介役となっている。今後とも、公民館利用団体が増加するよう、情報の収集・提供に努めたい。公民館利用団体、特に自治会やまちづくり委員会の構成団体とは連携を密にして、地域の拠点としての公民館づくりに努めた。 新型コロナウイルスの5類移行により公民館利用者数の減少に歯止めが掛かったと思われるが、公民館館報やホームページなどで、情報提供を適宜行うなど工夫をしていきたい。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	3			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			公民館まつりなどで公民館駐車場が満杯なり駐車場の不足などで利用者からの要望があることから、近隣のこども園・小・中学校の駐車場を臨時駐車場として借用できるよう連携をとっている。令和6年度以降の修繕計画(非常用蓄電器更新・多目的ホール・音楽室・外構照明のLED照明化等)への取り組みを計画的に進めたい。 また、利用者の方に気持ちよく施設を利用していただくために、職員全員で、あいさつや明るく丁寧な窓口対応を心掛けている。 館内や図書室では、掲示物・掲出物について、整理・整頓し、見やすく明るい雰囲気づくりに努めた、特に、時期によって求めが多いゴミの分別カレンダーや人間ドック申込書などは、すぐに案内できるように工夫している。 温水洗浄付暖房便座に改修したトイレを気持ちよく利用できるよう、トイレを清潔に保つことに心掛けている。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	社会全体が徐々にコロナ禍から通常体制へ移行していく中、自主事業については、予定どおりに実施することができ、参加者数、事業日数もコロナ禍前に戻っているが、公民館まつりへの参加団体の増加への働きかけや、発表の部への観覧者増加に向けて課題もあった。 令和5年度でトイレ改修工事が全て終了したことから、トイレを清潔に保つことに心がけている。また、令和6年度には消防設備更新工事を行うとともに、令和7年度に多目的ホール、音楽室、外構照明のLED照明更新工事を行うこととしたい。今後とも、親切・丁寧な窓口対応を心掛け、利用者の利便性を図りたい。 また、公民館が地域の拠点としてのコーディネートの役割を果たせるよう、さらに努力していきたい。「公民館まつり」についても、利用団体から参加を募り、自治会との連携協力し開催することができた。利用者の少子化、高齢化の問題が今後大きな課題となるため、今後も利用団体の増加及び来館者の利用促進のために努力していきたい。「秦野で一番親切な公民館窓口」を目指し、利用者の利便を図りたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	近隣住民の要望に応じた修繕など、利用者や市民の要望に応えた施設整備ができており、1、2階のロビーも展示物やチラシ・ポスターなどが見やすく、工夫され整理整頓ができています。 また、南が丘元気っ子クラブ子ども会の活動について、公民館での重点事業として、ボランティアスタッフと公民館との協働により継続していただきたい。 さらに、市民の安心安全を目的とする公民館避難所機能の拡充を図るため、公民館まつりや様々な機会において、防災意識の向上を図ることが望まれる。具体的には、災害用スマートフォンなどの充電設備の配置や簡易トイレの展示など、関係部署と連携し、新たな装備の導入や展示を行うよう期待したい。 また、熱中症対策としてのシェルター機能を充実させるため、発汗により失われた水分、イオン(電解質)をスムーズに補給できる健康飲料やウォーターサーバーの配置などを進めていただきたい。 最後に、現在行われている、地域ボランティアの協力による公民館周辺の整備(草刈り等)などが継続して行われるように支援していきたい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	地域のコーディネーターを意識した公民館運営を目指すとしており、施設運営に地域住民の協力も得られている。また、公民館まつりでは、実行委員会に南が丘地区の8つの自治会長が参加することで、地域の公民館としての意識が芽生え始めている。今後も地域住民が地域活動や公民館活動に関わることができるよう、公民館職員には地域住民、学校及び公民館をつなぐコーディネート役になることを期待したい。 施設面については、昨年度課題であったが、公民館運営協議会委員の提案により、植栽の整備や雑草の刈り取りなどが行われ、公民館の環境整備に務められたことは評価できる。

令和6年度(5年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立堀川公民館					
職員数		8名 (内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	1.0km ²	人口	6千人		
施設	開館年度	平成16年度		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	1,496.48m ²		敷地面積	2,430.76m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室 ■音楽室 ■創作活動室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		3年度 決算額	4年度 決算額	5年度 決算額	6年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,916	3,978	4,161	4,717		
	参加者負担金	63	51	60	59		
	軽印刷その他雑入	265	223	234	261		
	計	3,244	4,252	4,455	5,037		
支出	活動費(0101)		170	192	191	161	
	維持管理費(0102)		7,351	11,306	12,838	9,287	光熱水費、委託料等の増
	事務費 (0103)	人件費	14,412	14,244	14,692	17,288	令和6年度:事務職員へ勤勉手当支給による増
		その他	477	508	552	548	
	計		22,410	14,752	15,244	17,836	
	営繕工事費(0200)		10,170	4,272	1,979	3,060	
利用状況等	指標名		3年度 実績値	4年度 実績値	5年度 実績値	6年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	32,344	37,739	39,346	39,500	
		利用件数	3,717	3,902	3,912	4,000	
		利用日率	68.9%	82.8%	82.6%	85.0%	
	事業	事業日数	43	58	70	70	
		参加者数	657	730	988	1,000	
	図書室	利用者数	6,372	5,868	6,482	6,500	
	連絡所	住民票等取扱件数	3,992	3,443	3,365	—	
令和5年度方針		地域との連携を図り、地域に根ざした公民館を目指す。 生涯学習の拠点として、地域のニーズに合わせた自主事業を展開する。 学習成果の発表の場としての機能を大切に、活動意欲を喚起する。 堀川小学校、堀川幼稚園等、地域の教育施設との連携を図る。					
令和5年度改善事項		多目的ホールの空調の修繕等、必要に応じて速やかに対応できた。 「スマホ教室」では、生涯学習課と連携し、講座の開催ができた。 使用の部屋の換気など、利用者の協力により新型コロナウイルスへの対応ができた。					

評価:5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己評価	内部評価	外部評価	主な取り組みと成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	3			公民館利用者の意見や要望に率直に耳を傾け、施設の改善や自主事業の展開を図ることができた。 公民館運営協議会を年2回開催し、事業運営に関わる協議を行ってきた。公民館職員は、職員間の情報の共有を心がけ、事務作業の電子化に伴う対応の理解が深まっている。 地域住民の情報拠点として明るく開放的な窓口を心がけてきた。これにより、公民館への要望を取り入れ、運営に反映することができると考えている。実際、空調の不具合への速やかな対応や、公民館植栽の手入れなど、地域住民や利用者の方々の助言や助力によって支えられてきた。 自主事業では「はだの広報」やHP、ポスター等の掲示により効果的に情報の発信ができた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	3			公民館が地域の情報や交流のセンター的な役割を果たすことができるよう、配布物や掲示物の配置に留意し、誰もが気軽に立ち寄りやすいロビーとなるよう心がけてきた。 利用団体の代表者の方にコンサートや展示会の運営に参加して頂いたり、講師を務めて頂いたりすることで、自主事業が、利用者のニーズに沿った学びの場や学習成果の発表の場となるよう努めてきた。 自主事業の内容としては、親子の触れ合いを深める講座や「ホテル観賞会」「里山めぐりハイキング」など地域の自然に親しみ、環境保全に関わるような講座を意図的に設けてきた。 学校関係では、新型感染症予防のため自粛していた行事も再開され、交流の機会も増え、連携の必要性も増してきている。特に堀川小学校のコミュニティ・スクール事業の関係では、活動に協力していきたい。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			施設や設備には老朽化の目立つ部分もあるが、利用者からの指摘や要望には可能な限り迅速に対応した。また、定期的な点検を行い、安全快適に利用して頂けるよう努めてきた。 窓口では親切丁寧な対応を心掛けるとともに、挨拶を徹底し、誰もが気持ちよく、また気軽に利用できる公民館をめざしてきた。 図書室では、誰もが利用しやすい環境作りに努めるとともに、新着本の配架や紹介等を計画的、効果的に行えるよう心がけた。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	5	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取り組みと成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	3	利用者のニーズに合わせた講座や、新たな興味や関心を掘り起こすような自主事業の企画に努めてきた。 照明のLED化、多目的ホールのブラインドやここ数年続く空調設備の修繕など、施設の老朽化に伴い課題は山積みだが、担当課との連携を図りながら円滑に行っていきたい。 当公民館のエントランスホールは明るく開放的であり、日頃からソファなどで本や新聞などを読みながら、くつろがれる来館者の姿が見られる。熱中症予防協力施設としての役割も担っているので、安全・安心な館内整備に努めたい。また、施設周辺の植栽や草花のプランターの手入れなど進んで行ったださる方もおり、地域の方々に親しまれると同時に支えられていることに感謝したい。今後も生涯学習や地域情報の拠点として、より多くの方に利用していただける施設を目指していきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	5	令和2年より3年以上にわたった新型コロナウイルスも昨年5月より5類感染症に分類され、世の中の動きも徐々にではあるが、感染前または新たな取り組みへの変化が始まった。 そういった変化を的確に捉え令和5年度公民館自主事業に反映させて実績を以前と遜色なく、それ以上までに回復させたことは大いに評価できる。 また、職員の接客態度も利用者から笑顔を絶やさず目よく届いて動きが早く気持ちがよく、公民館自体が明るいねという声をよく耳にする。 近所をはじめ人と人の繋がり・結びつきがいかに関心を思い知らされた新型コロナウイルスで得られた教訓を糧に館長を中心とした館員全員で社会の変化を捉えながら、お年寄りや子どもたちが安心して笑顔で利用できる場の提供に取り組んでいたきたい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	公民館運営協議会では、自治会連合会長が代表を務め、特徴として、利用者代表を3名指名していることで、より地域住民の意見を反映した運営協議会となっている。 ロビーについては、空間がゆったりとしており、整理整頓されていることから、利用者に寄り添った公民館運営ができていると評価できる。 施設面では、照明のLED化により、明るく開放的な空間になり、電気代の節約にもつながっている一方で、不調が続く空調設備が課題である。公民館は、クーリングシェルターに位置づけられているため、利用者がより安心・安全に利用できるよう、引き続き環境整備に努められたい。